

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本製粉株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念を社内周知している。毎年、社長方針(経営目標)を基に各部署方針書及び実施計画書を作成。部署内で共有し、日々の業務に反映させている。								8	9													17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規程を定めている。CSR委員会を常設し、各種ハラスメント防止に取り組んでいる。定期的に社内におけるCSR活動をメールで全従業員へ発信し、周知している。																						16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		取引を行う際、取引先との間に公正な売買契約書を締結し、その重要性を従業員へ周知している。																							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社長直轄の組織として、「CSR推進室」「危機管理室」「SDGs推進室」を設置し、責任者を任命している。																							16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許や商標権を随時取得し、更新管理を行っている。																									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報を保管するキャビネットには施錠管理を行い、主に個人情報を扱う担当者のパソコンには静脈認証を設定している。																							16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客満足度調査を年1回実施している。ユーザーへの定期訪問を行い、要望等の聞き取りなど随時対応し、コミュニケーションに努めている。																						16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●																									16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		全体像を網羅したBCPを策定済み。社員分の水や食品、ラジオなど備蓄している。毎年、地震避難訓練を実施している。昨年は熊本地震規模を想定した机上型BCPシミュレーション訓練を管理職向けに実施済み。																							16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●																										17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めている。差別やハラスメント防止啓発活動として、外部相談窓口(社労士)を設置、全従業員へ周知している。																							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎月、法定で定められた労働安全衛生委員会を開催するとともに、職場巡回も行い、適切な労働環境が保たれているか巡回を行っている。工場においてはリスクアセスメントを推進している。																									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態にとらわれず、全ての社員が通信教育と社内外の研修を受けることができ、公正な待遇に努めている。同一労働同一賃金のガイドラインに沿った体制を整備中である。																									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		有休取得促進日を設け、取得を推進している。WLB休暇(年4回、自由に休暇取得可)を導入、推進している。フレックスタイム制の導入やテレワークの環境を整備し、働き方改革を推奨している。																									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		年1回通信教育の受講が可能(全額会社負担)。2コースまで選択でき、毎年平均75%の社員が受講している。業務上必要な資格取得の機会も推進。定期的に外部講師を招き、食品安全衛生講習もを行っている。																									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		年1回の健康診断、インフルエンザ予防接種を実施(会社負担)。年2回の所属長面談にて体調について申告、相談する体制を整備している。就業時間内に喫煙しない社員には健康増進手当が支給され、健康促進に努めている。																								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		定年後の再雇用制度(最長65歳から70歳まで延長可能)を設け、高齢者の働く機会の創出を行っている。女性の育児休業取得率も増加傾向。(2021年実績6名)取得しやすい環境の整備を継続して行っている。																								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		テレワーク就業規程を設け、営業職を中心にテレワークを導入している。技術職は2班に分け、時差出勤を継続中。テレビ会議用の会議室を設け、ネット環境も整備し、オンライン会議も積極的に取り入れている。																									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		2021年1月より社内の組織としてDX推進プロジェクトを新設。各部署からメンバーを選出し、課題点を洗い出しながら、現在RPAを活用し、業務改善に取り組んでいる。																									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2017年にプライト企業認定を受けている。2018年には「第1回くまもとプライト企業賞」を受賞。																									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本製粉株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物はISOの認証を受けた適切な廃棄業者を選定。マニフェストを管理している。 化学薬品等は、鍵のかかる保管場所管理し、記録をつけている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事業活動温暖化対策計画制度に基づく計画書を提出し、エネルギー使用量を把握している。照明設備をLEDに更新し、電力削減に努めている。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		事業活動温暖化対策計画制度に基づく計画書を提出している。 一部海上輸送を活用。トラック輸送からの切替によるCO2削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		熊本県産の小麦や米を使用することを促進し、熊本県の水田や畑の維持に取り組んでいる。 一部商品においては環境配慮型包材への切替を進め、環境への配慮に努めている。					6.6										14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		プラスチックと再生紙を分別して廃棄している。ペーパーレス化の推進。商品発送時には、製品段ボールの再利用を実施。 小麦粉などの廃棄物は家畜用や飼料用として販売している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		涵養域産(小麦・米など)の作物を購入し、地下水の保全につなげている。 くまもと地下水財団に加入している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		地球環境に優しい「プラントベースミート」を活用した商品の開発に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		子ども食堂への協賛を実施。(2020年実績) 食品の鮮度や品質保持期間の延長に関する研究を実施中。コンビニ商品の賞味期限延長などの実用化にもつなげる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		太陽光を活用した再生可能エネルギー事業に取り組んでいる。最大出力1,000kwの大規模な太陽光発電所を2基設置し稼働している。 (2020年間発電量 200万kw)								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		プリヂストンが主催する森林整備活動「エコピアの森」に毎年参加している。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		ポリ包材を一部環境配慮型包材へ切替を検討中。 【予定】令和3年12月までに一部切替。														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本製粉株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001、FSSC22000を取得している。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザインとして、レンジでチンするだけの誰もが簡単に調理できるパッケージでの商品提供を行っている。									9.1	10	11.7								17		
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県産小麦を使用した小麦粉、ミックス粉、乾麺等を商品化し販売している。玉名市産小麦を使用し、玉名市のふるさと納税へ当社製品の防災食(未来クッキー)を出品。		2.3					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17		
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	アレルギー問題に着目し、グルテンフリー商品を多数販売している。耕作放棄地を使用したアマランサスの栽培、商品化を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	玉名産小麦(プレミアムT)の販促。びふれす広場で新麦イベントを毎年開催している。また、宇宙食と言われている「アマランサス」に着目し、地元農家の方と協力し、栽培・商品化。2020年に「食品産業技術功労賞 地方発部門」を受賞。		2.3							8.2	9.2		11.a	12.2			14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		大規模災害時における災害派遣者の宿营地や駐車場として、当社敷地(2000m)の貸出が行えるよう、熊本市消防局と契約を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		水害に備えた敷地内の高低差調査を行い、ハザードマップも作成している。年に2回、地震避難訓練と火災訓練を実施している。				4							11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	熊本地震を機に熊本県産小麦を100%使用した防災食「くまもとの未来クッキー」を開発・販売した。3年間の長期保存が可能。										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内でSDGs推進プロジェクトチームを発足。定期的に会合を行い、SDGsに対する知識を深めている。今後、関係機関にご協力頂き、勉強会(カードゲーム等)を行う予定である。 【予定】令和3年12月までに社員向けに研修会を実施。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	定期的にインターンシップを開催している。今年はオンラインインターンシップも実施し、2022年卒学生に向けて計8回実施。(45名参加)				4						8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	毎年、熊本県主催の就職促進イベントに出展。県内イベントに積極的に参加している。									8.5											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2			4.3					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。